

平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業 費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当たりの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	海難の減少	16	億円/隻・年	海難事故の減少に伴う損失回避	3.2	億円/年
	荷役コストの削減(RORO船)	1,568	円/トン・年	RORO船の片側荷役解消とシャーシ化による荷役作業コストの削減	5.9	億円/年
	荷役効率化(コンテナ船)	1,230	円/トン・年	コンテナ船の荷役機械輻輳の解消による荷役作業コストの削減	2.1	億円/年
	荷役効率化(荷姿の変化)	177	円/トン・年	コンテナ船の40F化による荷役作業コストの削減	0.3	億円/年
	石垣港における滞留時間の削減	7,346	円/トン・年	平良港における荷役時間短縮に伴う石垣港における滞留時間費用の削減	1.9	億円/年
	国際観光純収入の増加	5,388	万円/隻・年	クルーズ船寄港に伴う国際観光純収入の増加	78.7	億円/年
耐震便益	耐震化による便益 ※地震発生確率考慮後	668	円/トン・年	緊急物資および一般貨物輸送コストの削減	3.7	億円/年
		0.1	億円/年	被害施設回避	0.1	億円/年

費用

費用項目	建設費、維持管理費
事業の対象施設	岸壁(水深7.5m)(改良)(耐震)、港湾施設用地、臨港道路、緑地、ふ頭用地、岸壁(水深10m)、防波堤(撤去・新設)、航路(水深10m)、航路・泊地(水深10m)